

「逆転の発想」

困難に直面した時には、逆転の発想をしてみよう。自分の立場ではなく、相手の立場に立って考え直す。攻めるだけではなく、退く。自己にとらわれず、大きな流れの中から結論を導き出す。そのような発想ができるよう、常に訓練しておこう。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

梅雨明けと共に暑い夏の気配がしてきました。今年も熱中症に加え、新型コロナの感染予防に努めながら水や泡に触れたり、ボディペインティングなど夏ならではの活動を行い、開放感を感じながら冷たさや心地よさを感じながら遊んでいます。

私たちは落ち込んだときや失敗したとき、越えられそうにない壁にぶつかったとき、今までの経験から判断したり自分の考えを押し通そうとしたり、不安や怖さから1つのことに固執してしまう事があります。しかし、広い視野で周りを観察し些細な変化や問題点を察知したり、相手の立場を想像し心を近づけることで今まで見えなかったものが見えてきます。物事の本質を見極め主観的ではなく冷静に、また多角的に考え、枠にとらわれない発想がピンチをチャンスに変えていくのだと思います。日頃から、多くの人の話を聞くことで様々な意見や捉え方があることを知ったり、発想を逆転し行き詰まりから抜け出せるようなひらめきを生み出す力を培うことが大切だと思います。

子どもたちの物事に対する常識や決まった考えにとらわれることのない、柔軟で斬新な遊びに驚かされることがあります。何かに気付いたり見立ててみようとする力や試してみたり自分の考えたことをやりぬく力を育めるよう、また子どもたちの出した答えを否定することなく認め自信へと繋げられるような保育を心がけていきたいと思っています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

8月聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

テサロニケの信徒への手紙15章16節～18節

8月主題

「ゆったりと」 0歳

- ・神さまや周りの人たちに守られ愛されていることを感じる。
- ・ゆったりと過ごす。
- ・暑い夏を体調を整えて過ごす。

「ゆったりと」 1・2歳

- ・神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる。
- ・家族や友だちともゆったりと過ごす。
- ・虫などをゆっくり見たり、触ってみたりする。

～子どもたちの姿～

いつの間にかセミの声が聴こえ始め、季節はすっかり夏です。7月21日にサマーフェスティバルを開催しました。いつもと違う浴衣や甚平に身を包みながら「○○さんかわいいね」と声を掛けながらウキウキとした表情を見せていました。2人ずつのペアになり相談しながらゲームをしていきます。紐くじではどの紐に何が付いているのかをよく考えながら紐を選び、はずれを引いてしまうと悔しそうな表情で、一緒に回る友だちに「もう一回いい？」とやりたい気持ちを伝える様子も見られました。最後は全員で、前にいる友だちに輪を渡し、先頭が棒に輪をかけることを繰り返すことで大きな花火が完成しました。ルールを理解し、協力しながら遊ぶ面白さも子どもたちは感じるようになってきました。親しみの中で心地よさを感じながら人と関わる力をこれからも養っていきたいと思います。



	月	火	水	木	金	土	日
8月の予定表	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10 身体測定	11 山の日	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22 避難訓練	23	24	25 誕生日会	26 歯科検診	27	28
	29	30	31 クレイシュ通信				

◎自分での支度をするようになりましたので、名前は分かりやすい所に大きく記入をお願いします。
◎汗をかきやすい季節になりますので、着替えを多めに用意をお願いします。